



第315号

発行
浄土真宗
心光寺
奥原曇龍
倉敷市早高426
☎(086)420-1311



花は散らない



カット：本多紘子

春たけなわの季節となり、お寺の庭にもたくさんの花が咲き競っています。晴れやかな入社式や入学式のニュースに心弾むこのころですが、皆様お元気でいらっしやいますか。

お年寄りの方はのんびりと選抜高校野球をテレビ観戦なさっているのかと思うと、シルバーで働いたり、病院に治療で通院したりして結構忙しそうにしている方が多いのに驚きます。我が家でジツとしていたり、のんびりぶらぶらするのが苦手な年寄りが多く、グラウンドゴルフやゲートボールで午前中をいっぱい楽しんで元気さにはビックリポイントです。その反対に春は花粉症で悩み、外に出たがらず、働きもしないで家の中でぶらぶらする若者が増えているのは残念です。

少子高齢化社会といわれて久しい日本の国ですが、愚僧も団塊の世代で満67歳です。高齢者の仲間入りをしています。子供が大学生と高校生なので、周囲からは働き盛り子育て盛りと言われ、まだまだ若い、今から今からとハッパをかけられます。愚僧もついついその気になって、電子ピアノで『みほとけに抱かれて』という仏教賛歌を弾きたいと独学で練習しました。楽譜も読めないのに67歳の手習いで必死で努力すると四カ月で何とか弾け、自分に感動しています。

*心の悩み・信仰の相談は月曜日から木曜日の午前中に気楽にお電話下さい。

仏語に「物に定まれる性なし」とありますが、水は冷やせば氷になり、熱を加えれば蒸気となるように、縁によって物は変わります。だから人もきつと変われると信じようよ。どんな自分に成りたいのか目標を持つことが一番だ。鉛筆も始めから鉛筆として存在したわけではなく、木材にカーボンを固めた芯をはさむという条件(縁)が加わって鉛筆となったのです。これを火にくべると燃えて灰になります。目に見え、手で触れる物質にも固有の実体はなく、さまざまな条件(縁)が重なってそこに物が存在しています。その条件は常に変化し続けています。人の身体も感情も変化し、ずっと同じ状態は保てないのです。何をやっても上手くいかない駄目な自分も、ずっと駄目なわけじゃない。善き人との出会いや、かけられた一言で立ち上がり、努力を惜しまない積極的な人間に変わることも出来るのです。

認可保育施設に申し込んで入れなかったのに「待機児童」と認定されなかった子供が、昨年4月時点で4万9千人いたことがわかり、自治体が待機児童と認定したのは2万3167人で、その倍以上の「隠れ待機児童」がいたと塩崎厚生労働相が3月18日に衆院厚労会で明らかにしました。保育園に子供をあずけて働かなければならない女性が増えていることが原因ですが、若い人たちには過酷な社会になりつつあり残念です。若い人の労働力が足りないのに、女性の社会進出を奨励しすぎているようにも感じます。働く女性がストレスで身体を壊して、医療費が右肩上がりなのも心配ですね。疲れがとれない、肩がこる、冷え性で辛いという女性が増え、何かが壊れています。

現代人は自分の目先に追われ損得でしか行動出来ない人が多い。仏語に「身は花とともに落つれども、心は香とともに飛ぶ」とありますが、人が去るときはよい残り香を置いていこうという句で、あなたは亡くなったとき何を残すのかという問いでもあります。花びらは散っても花は散らないのです。あなたはどれだけ懸命に生きたか。どれだけ夢を追ったか。どれだけ人を愛しましたか。合掌 (奥原 曇龍)

『夢を追ひ懸命に生き人を愛し 散つて咲くのが人の花なり』 どんりゆう



カット：奥原 唯

ともしび説法

日時・四月十七日「日曜日」 午前十時半から午後四時頃まで。
午前・ハンドベル演奏・パンフルート演奏 午後・儀式・仏教講演。
場所・倉敷市早高 426 新本堂
電話 086-420-1311



法然上人ものがたり(64)

法然教学は専修念仏、親鸞教学は悪人正機が教えの中核をなすと言われています。親鸞聖人の「悪人正機」とは、自らの力で修行して善根を積み浄土に生まれることの出来る人を善人と呼ぶが、いずれの修行にても煩惱によって生死(迷い苦しむ)を離れることの出来ない凡夫を悪人と呼び、阿彌陀仏の本願に頼るほかに救われる道がないと信じた悪人こそが救いの目当て(正機)と言う意味で悪人正機説と言われています。

刑法上の善人・悪人を言っているわけではなく、仏様のようにすべての人を大切に生きる方が出来る人を善人と呼び、自己中心で自分さえよければいいという自己本位の生き方に気づいた人を悪人と呼んだのです。

仏教では殺生罪があり、生き物を殺してはならない戒律があります。だが、生活上やむを得ない状態の中で殺生罪を犯す人たちがおり、具体的には漁夫・猟師・商人・農民などの被支配者・直接生産者たちです。

法然上人も『行状絵図』で「幼くよりすなどり(漁)を業をたちて、世をわたるはかりごと(魚)の命をたちて、世をわたるはかりごと」をしていた播磨国の高砂の浦の老夫婦も、「世を渡る道まちまちなり。いかなる罪ありてか、かかる身となり侍らん。この罪業の重き身」と罪の意識に重荷を感じていた室の泊の遊女にしても、また「武勇の道にたずさわりて弓馬の芸をたしなみ、射りようを事として、罪悪をほしいまま」にしていた武士もみな罪人であり、悪人であったのです。

被支配者・直接生産者の救いの道は、阿彌陀仏の本願に頼むほかになかった。この世ではなく、来世でのみ救われなければならなかった人達であった。こうした罪人や悪人すらも、お念仏によって救われると説いた人が法然上人だったので。悪人往生の道を日本で最初に開かれたのです。合掌(奥原曇龍)

桜咲き小鳥さえずる寺の庭 沈む夕陽は浄土のともしび 田辺多恵子



心光寺の芝焼き(どんりゅう住職と世話人)

ともしび法話

春爛漫。華やかな入学式やお花見と浮き浮きする季節ですが、皆様お元気ですか。お寺では四月十七日に春の永代経法要があり準備に大忙しです。長女の綾は大学四年、弟の龍は大学二年、次女の唯は高校三年となり、それぞれが人生の離陸準備に入って、親から巣立ちの態勢です。

春の日差しを受けて木蓮の花が咲きました。皆様お変わりございませんか。二河白道の譬は、昔に広島道の道場で聞き懐かしいです。心光寺も発展の様子、嬉しいです。

静岡県菊川市 津田 幸子
街で托鉢姿の曇龍先生に出逢ってから何年も経ちました。私の知らない色んな事ともしびで学び、感謝しています。

倉敷市新田 上中 康子
曇龍先生、春の法要が近づき準備が大変です。心光寺は法要前に本堂で踊りや音楽の催し物をするなど、楽しそうです。お寺が綺麗になるのも門徒には嬉しいです。
都窪郡早島町 三浦 マチ子

ともしび説法

日時・四月十七日「日曜日」 午前十時半から午後四時頃まで。
午前・ハンドベル演奏・パンフルート演奏 午後・儀式・仏教講演。
場所・倉敷市早高四二六 心光寺(しんこうじ) 本堂にて
電話・(086)420-1311 駐車場有り
(宗派をとわず、まじめに人生を考えているあなたに参加していただきたいのです。)

○ともしび説法・お寺の行事予定
五月 十一日(水)・午後一時から午後四時頃・早高の本堂。
六月 八日(水)・午後一時から午後四時頃・早高の本堂。
七月 十二日(火)・午後一時から午後四時頃・早高の本堂。
☆『ともしび』を平成18-20年、平成21-23年、平成24-26年と三年ごとにまとめて本としました。毎月1回のお寺の新聞が本となつて、過去の忘れていたニュースを思い出し、人生をふり返ることが出来ます。まとめた本が欲しい方は実費でお分け致します。



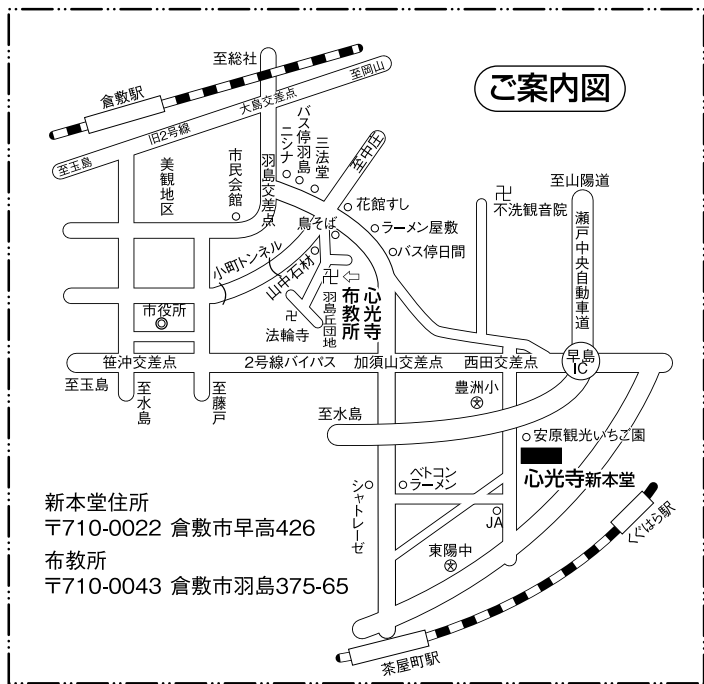
春の詩

春の大地は光りにあふれ
小川の水はさらさらと流れる
悲しみも苦しきも怒りも
さらさらさらさら流れる
花の香りが そよ風に乗って
去年の花ではなく
今年の花が命いっぱい咲く



カット: 吉岡美枝

浄土真宗の宗祖は親鸞聖人(しんらんしようにん)です。お葬式の時にあわてて葬儀屋さんを紹介してもらおうより、自分でお寺は決めよう。



- ◎ともしび制作費に御寄付ありがとうございました。
- 倉敷市 高尾様 塩崎様 高橋様 田邊様 三千元
 - 倉敷市 上中様 太田様 杉本様 實中様 本多様 中村様 四千元
 - 倉敷市 戸上様 平川様 前島様 宮武様 玉野市 北村様 四千元